

# 消化器内視鏡

ENDOSCOPIA DIGESTIVA

創刊：1989年4月  
発行形態：月刊 毎月25日発行  
判型/頁：B5判/120頁  
発行部数：7,000部

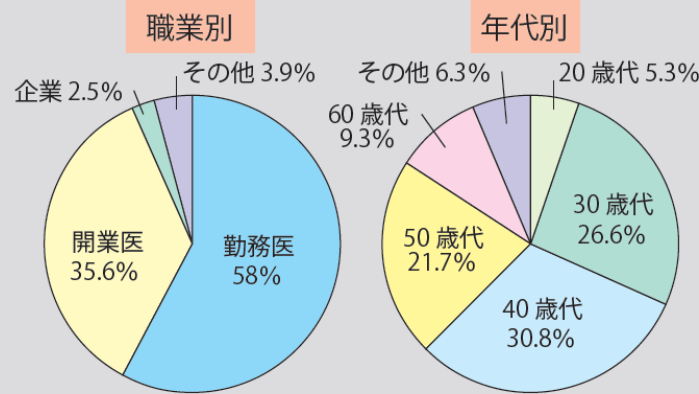
## 読者対象

消化器内科・外科医, 内視鏡技師などのコメディカルスタッフ

## 本誌の特長

消化器内視鏡の正しい発展と、卒後教育のための最新情報を提供。カラー写真やイラストを必要十分に用いた、見やすく理解しやすい誌面。毎号アトラクティブな特集を組み、技術解説、基礎知識、症例報告、貴重な内視鏡像を交えながら、トピックスや最先端技術を紹介する。

## 購読者の対象別分布



創刊：1989年4月  
発行形態：月刊 毎月25日発行  
判型/頁：B5判/120頁  
発行部数：7,000部

## 消化器内視鏡

Vol. 33, No. 1  
January 2021

### 大腸腫瘍の内視鏡治療とサーベイランス

—再発させないコツと異時性病変の早期発見

Resection is not the end of polypectomy!  
Endoscopic Resection of Colorectal Neoplasm and Post-treatment Surveillance:  
Focus on prevention of recurrence and early detection of metachronous lesion

**初回TCS**

- 腫瘍性病変なし → 定期的なFIT検診
- AA以外の腺腫 2個以内 → 3~5年後のTCS
- AA以外の腺腫 3~9個 → 3年後のTCS
- Advanced neoplasia AA以外の腺腫≥10個 → 1年後のTCS (T1癌, T1癌, 病変数≥10個, 腫瘍径≥20mm)

[特集のポイント]

- 大腸腫瘍に対する内視鏡治療法の種類と基本的な使い分け
- 病理からみた根治度判定と再発様式
- 大腸内視鏡スクリーニングとサーベイランスガイドラインの要点
- 大腸ポリープ診療ガイドライン改訂の要点
- Polypectomy
- EMR/ESD
- 特殊な病態における内視鏡治療法

東京医学社

## 2021年 33巻

通常号：定価 3,520円 (税込み) 11冊  
増大号：定価 5,500円 (税込み) 1冊  
増刊号：定価 8,800円 (税込み) 1冊  
年間購読：53,020円 (税込み) 13冊

## 広告料金

表紙2	1頁	320,000円	4色
表紙3	1頁	250,000円	4色
表紙4	1頁	400,000円	4色
目次下	1/5頁	62,000円	1色
前付	1頁	200,000円	4色
前付	1頁	85,000円	1色
記事	1頁	60,000円	1色
記事	1/2頁	36,000円	1色
綴込み	1枚	138,000円	

その他の特殊頁広告については最寄りの代理店まで、お問い合わせ下さい。  
\*表示の広告料金は消費税別です。

## 編集委員

編集主幹	岩男 泰 (慶應義塾大)	杉山政則 (東京労災病院)	神 信廣 (早期胃癌検診協会)	星原芳雄 (日本医大/虎の門病院)
編集委員	赤松泰次 (信州医療センター)	有馬美和子 (埼玉県立がんセンター)	小原勝敏 (福島県保健衛生協会)	貝瀬 満 (日本医大)
	樫田博史 (近畿大)	河内 洋 (がん研有明病院)	藤田直孝 (みやぎ健診プラザ)	安田健治朗 (京都第二日赤)
	矢作直久 (慶應義塾大)	山本博徳 (自治医大)		

## 広告規格・締切

サイズ	天地 220mm × 左右 150mm
広告原稿	紙焼, フィルム, データ
広告申込締切	前月 10日
広告原稿締切	前月 25日
綴込納品締切	前月末日